

衆議院議員総選挙等に対する予算措置について

衆議院の解散に伴う衆議院議員総選挙及び最高裁判所裁判官国民審査の費用として、令和6年10月9日付けで、次のとおり一般会計補正予算（第5号）の専決処分を行った。

[補正予算の概要]

第1表 歳入歳出予算補正

歳入

| 款 | 項 | 既定額 | 補正額 | 計 |
|----------------|-------|-----------------|--------------|-----------------|
| 16 県 支出金 | | 千円 5,560,123 | 千円 51,410 | 千円 5,611,533 |
| | 3 委託金 | 380,434 | 51,410 | 431,844 |
| 補正されなかった款項に係る額 | | 77,491,973 | 0 | 77,491,973 |
| 歳入合計 | | 83,052,096 | 51,410 | 83,103,506 |

歳出

| 款 | 項 | 既定額 | 補正額 | 計 |
|----------------|-------|-----------------|--------------|-----------------|
| 2 総務費 | | 千円 8,495,473 | 千円 51,410 | 千円 8,546,883 |
| | 4 選挙費 | 78,908 | 51,410 | 130,318 |
| 補正されなかった款項に係る額 | | 74,556,623 | 0 | 74,556,623 |
| 歳出合計 | | 83,052,096 | 51,410 | 83,103,506 |

・予算に関する専決処分

地方自治法第179条第1項において、法定の事由があるときには、首長（市長）が議会において議決すべき事件を処分（「専決処分」といいます。）することが定められています。今回は、事件の性格上速やかに処置する必要があり、同項の「（首長において）議会を招集する時間的余裕がないと認めるとき」に該当するため、専決処分を行ったものです。

なお、専決処分については、その処置について議会に報告し、承認を求めるなければなりません（同条第3項）。